自然にひたる

豊かな自然の中に立った時、心とからだの緊張がもつれた糸がするりとほどけるように ほぐれていくのがわかります。自然にひたり、心癒される。包み込むようにやさしい 素顔の自然がここにはあります。

畑のしだれ桜

茶畑に囲まれた小高い丘の上にある、樹齢400年を数えるエドヒガンザクラの銘木。甲賀市指定の天然記念物となっています。
ゆく春を惜しむかのように咲き誇る花は人々の心を惹き付けてやみません。

茶園

1200年の伝統を持つ銘茶・朝宮茶。日当たりのいい斜面には、茶畑の緑豊かな風景が広がります。

斎野槙

玉桂寺の山門正面に見事に茂る高野槙。石段の左右に1株づつ植えられたものが、種から子株が生えて孫世代までも繁茂したものです。県指定の天然記念物。

滝 三筋の滝・鶏鳴の滝

田代川に激んだ水音を響かせる、東海自然歩道の休憩所もある三筋の滝。黄金の鶏伝説にちなんだ名を持つ鶏鳴の滝。夏のひととき、涼を求める人々で賑わいます。

三筋の滝

鶏鳴の滝

紅葉

高原のまち信楽の秋。冷え込むごとに鮮やかさを増す見事な紅葉が、山も里も染めあげます。

歴史をめぐる

「しげる木」から「しがらき」へ
「紫香楽宮」から「信楽」へ
めくるめく歴史にちりばめられたロマンのかけらをひろい集めて歩いてみましょう。

紫香楽宮跡（宮殿跡）

天平14年(742年)、聖武天皇が離宮造営に着手したことに始まる紫香楽宮。わずか数年で遷都されたため長く幻の都といわれてきましたが、平成12年(2000年)、宮町地区で宮殿跡が発見され、全国的に注目を集めるようになりました。

南から見た宮町全景

飯道神社本殿

奈良時代初め(和同年間)に創建されたと伝承のある式内社。平安時代以降、山岳信仰や修験道の聖地として栄えました。現在の本殿は、慶安3年(1650年)に建立された極彩色の建物で国の重要文化財に指定されています。昭和51年(1976年)、修復事業により創建当初の姿が再現されました。

愛宕神社・陶器神社

信楽の町を一望できる愛宕山山頂にある、土の神と火の神を祀る神社。焼き物のまちならではの陶器の鳥居や狛犬をご覧いただけます。

仙禅寺跡磨崖仏

中世の戦乱で大半が焼失した仙禅寺。その奥院跡には、岩壁に彫刻された鎌倉時代の三尊の磨崖仏がひっそり佇んでいます。

松尾芭蕉句碑

「木がくれて茶摘みも聞くや不如帰」という芭蕉の句が刻まれています。

紫香楽宮跡(寺院跡)

聖武天皇が発した大仏造立の詔により、大仏の骨組みとなる体骨柱を立てたと推察される寺院跡。数多く残されている礎石が、当時の面影を今に伝えています。

文化にふれる

ふれると心に響く「文化」がここにあります

匠の技が守り伝えてきた伝統という名の文化
時代の息吹が創っていく挑戦という名の文化
ふたつが出会い 触発しあい 融合し 醸し出す

信楽伝統産業会館(観光案内所)

鎌倉時代から現代までの信楽焼の作品や関連資料を展示しています。現代作家の企画展も開催。信楽観光は、まずここで情報収集をしてからスタートを。（木曜休館）

陶都・信楽まつり

夏は陶器づくりや生活や文化に欠かす事のできない火への感謝と火に関わる安全を願って行われる松明奉納祭の「しがら火まつり」、秋は信楽焼の即売会の「信楽陶器まつり」を開催しています。是非お越しください。

火まつり
約700本の松明の火を、愛宕山の陶器神社へ奉納する勇壮なまつり。

夏のしがら火まつり
7月の第四土曜日
秋の信楽陶器まつり
10月中旬
陶器まつり
信楽焼の即売を中心に行われ、全国から焼物ファンが集まる。

太鼓踊り

秋祭りに奉納される雨乞いや五穀豊穣を祈る踊り。牧の日雲神社でおこなわれます。

信楽産業展示館
様々な信楽焼が展示されている総合展示場

滋賀県立陶芸の森

信楽焼はもちろん、世界の陶芸に出会うことができる陶器のテーマパーク。散策をかねて訪れる人で四季を通じて賑わっています。

まちをあそぶ

遊びゴコロがあちらこちらに散らばっています。

窯元散策路

信楽駅前から続く古いたたずまいの路。登り窯や無造作に積まれた古い火鉢、「陶生町」「焼屋町」といった町名が、陶都信楽ならではの風情をかもし出しています。道路に埋め込まれた陶板や陶製の道標を楽しみながら、点在する工房をめぐれば、きっとお気に入りのうつわに出会えるはずです。

焼物の町ならではの陶器の道標

数日間連続で焚き続けられる登り窯の立ちのぼる煙は信楽の風物詩でした。現在でもいくつかの窯が実際に使用されています。

陶芸教室

土と遊び楽しさに、大人も子どもも夢中になる作陶体験。町内の各所で体験教室が開催されています。

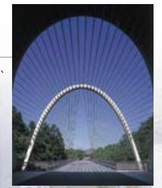
福たぬき

信楽と言えば、なんといっても「たぬき」。街のいたるところで出会える、福をもたらすというユーモラスで愛らしい姿に、思わず笑みがこぼれます。

信楽駅前でにっこり出迎えてくれる、ユニークなたぬきの公衆電話BOX。

MIHO MUSEUM

日本の伝統美術から、世界各地の古代文化の名宝に出会えるアートの別天地。巨匠I.M.ペイ氏による自然と調和した建物も、アートそのものです。



ゴルフ場

緑あふれる自然の中で流す汗は格別です。リフレッシュすると、明日への活力がわいてきます。

炎の美通り

駅から川沿いに続く散策路。信楽焼によるペイブメント(舗道)の陶美通りへと続きます。春には満開の桜が路を彩ります。